

科 目	家庭基礎	単位数	2	履修学年・クラス（講座）	2年・全クラス
使用教科書	Agenda家庭基礎				
補助教材等	生活学Navi				

1 学習の到達目標

生活様式の多様化が進む現代社会において、主体的に生活を営み、生活の充実向上を生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- 生活は日々変化しています。その変化をとらえるために、一人一人が分担して調べ学習をします。調べたことは発表します。どんなふうに発表するかは各自の工夫によります。聞いているクラスメイトが感心してくれるような発表をしましょう。
- コピペの多用ではなく、自分たちの言葉で説明できるように多面的な調べを進めましょう。
- 発表者への成績は責任をもってつけましょう。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	調べることを通して社会変化に気づき、高校生らしい視点と工夫で発表スライドを作り、発表する。 実技においては、作品を丁寧に作る。	与えられたテーマについて、深く考察できている。 発表する時間が短かすぎない。 わかりやすい説明ができた。	提出期限を守る。 相互評価をきちんと行う。 いい加減な評価をしない。 実習での忘れ物をしないで、熱心に取り組む。
主な評価方法	・発表を聞いた生徒による評価 ・作品の出来栄え、感想の記入	・内容の充実、わかりやすさ、表現の工夫について確認する	・提出期限を守ったか確認する ・相互評価用のGoogleフォームを提出できているか確認する ・いい加減な評価をしていないか確認する

4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時数	学習内容	評価規準
4 5 6	消費と環境 お金の管理 契約・ライフデザイン 自分・家族 家族と人生 家族の課題		テーマに沿って調べ、発表する 消費者としての意識付け 18歳青年における注意 生活実態と家族の役割	・テーマに沿った内容のスライドを作り、発表できる(a) ・発表の仕方を工夫し、注意を惹く説明ができる(b) ・客観的な評価ができ、提出期限を守ることができる(c)
7 8 9 10 11	実習 被服製作実習 調理実習 衣生活 衣服の歴史と管理 いろいろな人が着る 食生活 食と健康 地産地消と世界との つながり		実習を通して、持続可能な生活設計を実践できるようにする テーマに沿って調べ、発表する 衣服の管理を知る 衣服の歴史に触れる 食と健康や世界とのつながり	・被服製作実習では作品の完成度を、調理実習では実習の感想や栄養価の計算をする(a) ・テーマに沿った内容のスライドを作り、発表できる(a) ・発表の仕方を工夫し、注意を惹く説明ができる(b) ・客観的な評価ができ、提出期限を守ることができる(c)
12 1 2	食生活 栄養素の働き 食の安全性 豊かな食生活 子どもと高齢者 少子高齢化社会を生きる		テーマに沿って調べ、発表する 栄養素の働き 食の安全性 気候変動と食生活の関係 少子高齢化とこれからの社会 について	・テーマに沿った内容のスライドを作り、発表できる(a) ・発表の仕方を工夫し、注意を惹く説明ができる(b) ・客観的な評価ができ、提出期限を守ることができる(c)